本資料のうち，枠囲みの内容は，
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません

東海第二発電所　工事計画審査資料	
資料番号	工認-497　改 3
提出年月日	平成 30 年 9 月 25 日

日本原子力発電株式会社
東海第二発電所　工事計画審査資料
放射性廃棄物の廃棄施設
気体，液体又は固体廃棄物処理設備
（気体廃棄物処理系）

（本文）

放射性廃棄物の廃棄施設

2　気体，液体又は固体廃棄物処理設備

2.1　気体廃棄物処理系

(1)　熱交換器

a.　排ガス復水器

b.　排ガス前置除湿器

c.　再生ガス加熱器

(4)　容器

a.　排ガス再結合器

(8)　ろ過装置

a.　排ガス気水分離器

b.　排ガス前置フィルタ

c.　気水分離器

d.　排ガス後置除湿器

e.　排ガスメッシュフィルタ

f.　排ガス活性炭ベッド

g.　再生ガスメッシュフィルタ

h.　再生ガス気水分離器

i.　再生ガス油分離器

j.　排ガスフィルタ

(10)　主配管

a.　管

(a)　排ガス空気抽出器

(b)　排ガス消音器

(c)　再生ガス消音器

(d)　主配管

2　気体，液体又は固体廃棄物処理設備に係る次の事項

2.1　気体廃棄物処理系

(1)　熱交換器の名称，種類，容量，最高使用圧力（管側及び胴側の別に記載すること。），最高使用温度（管側及び胴側の別に記載すること。），伝熱面積，主要寸法，材料及び個数

				変　更　前	変更後
名称				排ガス復水器	変更なし
種類			－	横置U字管式	
容量（設計熱交換量）			MW/個	[redacted] (4.86*2, *3)	
管側	最高使用圧力		MPa	0.86*1	
管側	最高使用温度		℃	538	
胴側	最高使用圧力		MPa	2.41*1	
胴側	最高使用温度		℃	538	
伝熱面積			m^2/個	[redacted] (207*3)	
主要寸法	管側	胴内径	mm	900*3	
		胴板厚さ*4	mm	[redacted] (16*3)	
		鏡板厚さ	mm	[redacted] (16.0*3, *5)	
		鏡板の形状に係る寸法	mm	900.0*3, *5 (鏡板長径)	
				225.0*3, *5 (鏡板短径の2分の1)	
		冷却水入口管台外径	mm	165.2*3, *5	
		冷却水入口管台厚さ	mm	[redacted] (7.1*3, *5)	
		冷却水出口管台外径	mm	165.2*3, *5	
		冷却水出口管台厚さ	mm	[redacted] (7.1*3, *5)	
		胴フランジ厚さ	mm	[redacted] (60.0*3, *5)	
	胴側	胴内径	mm	900*3	
		胴板厚さ*4	mm	[redacted] (30*3)	
		鏡板厚さ	mm	[redacted] (30.0*3, *5)	
		鏡板の形状に係る寸法	mm	900.0*3, *5 (鏡板長径)	
				225.0*3, *5 (鏡板短径の2分の1)	
		排ガス入口管台外径	mm	267.4*3, *5	
		排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted] (9.3*3, *5)	
		排ガス出口管台外径	mm	114.3*3, *5	
		排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted] (6.0*3, *5)	

（続き）

				変　更　前	変更後
主要寸法	管板厚さ*6		mm	[redacted](110.0*3，*7)	変更なし
	伝熱管外径		mm	15.9*3	
	伝熱管厚さ*8		mm	[redacted](2.6*3)	
	全長		mm	4890*3，*9	
材料	管側	胴板*10	－	STPA23 相当 [redacted]	
		鏡板*10	－	STPA23 相当 [redacted]	
		胴フランジ	－	SFVAF11A 相当*2 [redacted]	
	胴側	胴板*11	－	STPA23 相当 [redacted]	
		鏡板*11	－	STPA23 相当 [redacted]	
	管板		－	SUS304	
	伝熱管		－	SUS304TB	
個数			－	2	

注記　＊1：ＳＩ単位に換算したもの。

＊2：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊3：公称値を示す。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊5：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 54 年 11 月 2 日付け 54 資庁第 11618 号にて認可された工事計画の添付書類「1-3　排ガス復水器の規格計算書」による。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「管板厚」と記載。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には，胴フランジと管板端部を含めた厚さである「114 mm」と記載。記載内容は，昭和 54 年 11 月 2 日付け 54 資庁第 11618 号にて認可された工事計画の添付書類「1-3　排ガス復水器の規格計算書」による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「伝熱管肉厚」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には，管側鏡板端部から排ガス入口管台端部までの全長である「4890 mm [redacted]」と記載。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「仕切室」と記載。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体」と記載。

				変　更　前	変更後
名称				排ガス前置除湿器	変更なし
種類			－	たて置直管式	
容量			kW/個	[redacted](3.63*2, *4)	
管側	最高使用圧力		MPa	0.34*14	
	最高使用温度		℃	66	
胴側	最高使用圧力		MPa	0.58*1	
	最高使用温度		℃	66	
伝熱面積			m^2/個	[redacted](25*4)	
主要寸法	管側	胴内径	mm	500*4	
		胴板厚さ*5	mm	[redacted](9*4)	
		上部平板厚さ	mm	[redacted](28.0*4, *6)	
		下部平板厚さ	mm	[redacted](30.0*4, *6)	
		排ガス入口管台外径	mm	80.0*4, *6	
		排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](9.5*4, *6)	
		排ガス出口管台外径	mm	80.0*4, *6	
		排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](9.5*4, *6)	
		胴フランジ厚さ	mm	[redacted](30.0*2, *4)	
	胴側	胴内径	mm	500*4	
		胴板厚さ*5	mm	[redacted](9*4)	
	上部管板厚さ		mm	[redacted](35.0*4, *6)	
	下部管板厚さ*7		mm	[redacted](26*4)	
	伝熱管外径		mm	15.9*4	
	伝熱管厚さ*8		mm	[redacted](1.6*4)	
	高さ*9		mm	2808*4, *10	
材料	管側	胴板*11	－	SM41A	
		上部平板	－	SM41B*6	
		下部平板	－	SM41B*6	
		胴フランジ	－	SM41B*6	
	胴側	胴板*12	－	SM41A	
	上部管板		－	SUS304*6	
	下部管板*13		－	SUS304	
	伝熱管		－	SUS304TB	
個数			－	2*3	

注記　＊1：ＳＩ単位に換算したもの。

＊2：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（常用 1，予備 1)」と記載。

＊4：公称値を示す。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊6：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 51 年 11 月 27 日付け建建発第 112 号にて届け出した工事計画の添付書類「Ⅲ-1-12-4　排ガス前置除湿器（Ⅲ-1-11-6）の規格計算書」による。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「管板厚」と記載。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「伝熱管肉厚」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全長」と記載。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には，支持脚から上部仕切室蓋までの高さである「3518」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「仕切室」と記載。

＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体」と記載。

＊13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「管板」と記載。

＊14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.5 kg/cm²g 及び真空（排ガス)」と記載。記載内容は，正圧側をＳＩ単位に換算したもの。

			変　更　前	変更後
名　称			再生ガス加熱器	変更なし
種　類		－	たて置円筒形*1	
容　量		m^3/h/個	[redacted] (500*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	340	
主要寸法	胴内径*4	mm	900*2	
	胴板厚さ*5	mm	[redacted] (9*2)	
	鏡板厚さ*7	mm	[redacted] (9*2)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	900.0*2, *6 (鏡板長径)	
			225.0*2, *6 (鏡板短径の2分の1)	
	再生ガス入口管台外径	mm	139.8*2, *6	
	再生ガス入口管台厚さ	mm	[redacted] (6.6*2, *6)	
	再生ガス出口管台外径	mm	139.8*2, *6	
	再生ガス出口管台厚さ	mm	[redacted] (6.6*2, *6)	
	管板厚さ	mm	[redacted] (42.0*2, *6)	
	胴フランジ厚さ	mm	[redacted] (50.0*2, *6)	
	高さ	mm	2412*2, *8	
材料	胴板*9	－	SM41A	
	鏡板	－	SM41A	
	管板	－	SUS304*6	
	胴フランジ	－	SF50*6	
個　数		－	1	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。
＊2：公称値を示す。
＊3：ＳＩ単位に換算したもの。
＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。
＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。
＊6：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和50年10月6日付け50資庁第8313号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-15　再生ガス加熱器の規格計算書」による。
＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。
＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には，支持脚から端子ボックスまでの高さである「3670」と記載。記載内容は，設計図書による。
＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。
＊10：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

(4) 容器の名称，種類，容量，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

			変　更　前	変更後
名称			排ガス再結合器	変更なし
種類		－	たて置円筒形*1	
容量		m³/h/個	[redacted] (7145*2)	
最高使用圧力		MPa	2.41*3	
最高使用温度		℃	538	
主要寸法	胴内径*4	mm	1950*2	
	胴板厚さ*5	mm	[redacted] (60*2)	
	鏡板厚さ*7	mm	[redacted] (60*2)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1950.0*2, *6 (鏡板長径)	
			487.5*2, *6 (鏡板短径の2分の1)	
	排ガス入口管台外径	mm	406.4*2, *6	
	排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted] (21.4*2, *6)	
	排ガス出口管台外径	mm	508.0*2, *6	
	排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted] (26.2*2, *6)	
	高さ	mm	2500*2, *8	
材料	胴板*9	－	STPA24 相当 [redacted]	
	鏡板	－	STPA24 相当 [redacted]	
個数		－	2*10	
漏えい防止のための制御方法		－	－	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：ＳＩ単位に換算したもの。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊6：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和50年10月6日付け50資庁第8313号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-2　排ガス再結合器の規格計算書」による。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚から鏡板上端部までの高さである「3715」と記載。記載内容は，昭和51年11月27日付け建建発第112号にて届け出した工事計画の添付図面「第8-2図　気体廃棄物処理系　排ガス再結合器」による。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（常用 1，予備 1)」と記載。

＊11：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

(8)　ろ過装置の名称，種類，容量，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数

			変　更　前	変更後
名称			排ガス気水分離器	変更なし
種類		－	たて置円筒形*1	
容量		m^3/h/個	[redacted](112*2)	
最高使用圧力		MPa	2.41*3	
最高使用温度		℃	94	
主要寸法	胴外径*4	mm	267.4*2, *5	
	胴板厚さ*6	mm	[redacted](9.3*2)	
	鏡板厚さ*8	mm	[redacted](9.3*2)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	248.8*2, *7 (鏡板長径)	
			62.2*2, *7 (鏡板短径の2分の1)	
	排ガス入口管台外径	mm	216.3*2, *7	
	排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](8.2*2, *7)	
	排ガス出口管台外径	mm	216.3*2, *7	
	排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](8.2*2, *7)	
	高さ	mm	736.6*2	
材料	胴板*9	－	SUS304TP	
	鏡板	－	SUS304	
個数		－	2	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「同筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：ＳＩ単位に換算したもの。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には，胴体内径である「248.8」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和54年11月2日付け54資庁第11618号にて認可された工事計画の添付書類「1-4　排ガス気水分離器の規格計算書」による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊10：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変　更　前	変更後
名　称			排ガス前置フィルタ	変更なし
種　類		－	たて置円筒形*1	
容　量		m^3/h/個	[redacted](80*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	66	
主要寸法	胴内径	mm	1100*2	
	胴板厚さ*5	mm	[redacted](12*2)	
	平板厚さ	mm	[redacted](39.0*2, *6)	
	鏡板厚さ	mm	[redacted](12.0*2, *6)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1100.0*2, *6 (鏡板中央部内半径)	
			110.0*2, *6 (鏡板隅の丸み半径)	
	排ガス入口管台外径	mm	165.2*2, *6	
	排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](7.1*2, *6)	
	排ガス出口管台外径	mm	165.2*2, *6	
	排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](7.1*2, *6)	
	胴フランジ厚さ	mm	[redacted](35*2, *7)	
	高さ	mm	1059*2, *8	
材料	胴板*9	－	SM41A	
	鏡板	－	SM41A	
	胴フランジ	－	SF45*10	
	平板	－	SM41A*10	
個　数		－	2*4	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.5 kg/cm²g 及び真空」と記載。記載内容は，正圧側をＳＩ単位に換算したもの。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（常用 1，予備 1)」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊6：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-5　排ガス前置フィルタの規格計算書」による。

＊7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には，支持脚から胴体蓋上端部までの高さである「1279」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊10：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付図面「第 3-6 図　気体廃棄物処理設備　排ガス前置フィルタ構造図」による。

			変　更　前	変更後
名　　称			気水分離器	変更なし
種　　類		－	たて置円筒形*1	
容　　量		m^3/h/個	[redacted](40*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	66	
主要寸法	胴外径*5	mm	139.8*2, *6	
	胴板厚さ*7	mm	[redacted](6.6*2)	
	上部平板厚さ	mm	[redacted](23.0*2, *8)	
	下部平板厚さ*9	mm	[redacted](19*2)	
	排ガス入口管台外径	mm	60.5*2, *8	
	排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](5.5*2, *8)	
	排ガス出口管台外径	mm	60.5*2, *8	
	排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](5.5*2, *8)	
	胴フランジ厚さ	mm	[redacted](21.1*2, *10)	
	高さ	mm	276*2, *11	
材料	胴板*12	－	STPG38	
	上部平板	－	SM41A*8	
	下部平板*13	－	SM41A	
	胴フランジ	－	SM41A*14	
個　　数		－	2*4	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.5 kg/cm^2g 及び真空」と記載。記載内容は，正圧側をＳＩ単位に換算したもの。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（常用 1，予備 1)」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には，胴体内径である「126.6」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊8：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-7　気水分離器の規格計算書」による。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板厚」と記載。

＊10：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書によ

る。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には，平板からフランジ上端部までの高さである「253」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板」と記載。

＊14：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付図面「第 3-8 図　気体廃棄物処理系　気水分離器構造図」による。

			変　更　前	変更後
名　　称			排ガス後置除湿器	変更なし
種　　類		－	たて置円筒形*1	
容　　量		m^3/h/個	[redacted] (40*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	340	
主要寸法	胴内径*5	mm	900*2	
	胴板厚さ*6	mm	[redacted] (9*2)	
	鏡板厚さ*8	mm	[redacted] (9*2)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	900.0*2, *7 (鏡板長径)	
			225.0*2, *7 (鏡板短径の2分の1)	
	排ガス入口管台外径	mm	139.8*2, *7	
	排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted] (6.6*2, *7)	
	排ガス出口管台外径	mm	139.8*2, *7	
	排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted] (6.6*2, *7)	
	高さ	mm	4037*2, *9	
材料	胴板*10	－	SM41A	
	鏡板	－	SM41A	
個　　数		－	2*11	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.5 kg/cm^2g 及び真空」と記載。記載内容は，正圧側をＳＩ単位に換算したもの。

＊4：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和50年10月6日付け50資庁第8313号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-8　排ガス後置除湿器の規格計算書」による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には，支持脚から充填物投入口までの高さである「5200」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（常用 1，予備 1)」と記載。

			変　更　前	変更後
名　　称			排ガスメッシュフィルタ	変更なし
種　　類		－	たて置円筒形*1	
容　　量		m^3/h/個	[redacted](40*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	66	
主要寸法	胴外径*5	mm	216.3*2, *6	
	胴板厚さ*7	mm	[redacted](8.2*2)	
	上部平板厚さ	mm	[redacted](26.0*2, *8)	
	下部平板厚さ*9	mm	[redacted](19*2)	
	排ガス入口管台外径	mm	75.0*2, *8	
	排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](7.0*2, *8)	
	排ガス出口管台外径	mm	75.0*2, *8	
	排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](7.0*2, *8)	
	胴フランジ厚さ	mm	[redacted](22.5*2, *10)	
	高さ	mm	826*2, *11	
材料	胴板*12	－	STPG38	
	上部平板	－	SM41A*8	
	下部平板*13	－	SM41A	
	胴フランジ	－	SM41A*14	
個　　数		－	2*4	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.5 kg/cm^2g 及び真空」と記載。記載内容は，正圧側をＳＩ単位に換算したもの。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（常用 1，予備 1)」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には，胴体内径である「199.9」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊8：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-9　排ガスメッシュフィルタの規格計算書」による。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板厚」と記載。

＊10：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書によ

る。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には，支持脚からフランジ上端部までの高さである「1500」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板」と記載。

＊14：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付図面「第 3-10 図 気体廃棄物処理系　排ガスメッシュフィルタ構造図」による。

			変　更　前	変更後
名　称			排ガス活性炭ベッド	変更なし
種　類		－	たて置円筒形*1	
容　量		m^3/h/個	[redacted](40*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	66	
主要寸法	胴内径*5	mm	1350*2	
	胴板厚さ*6	mm	[redacted](12*2)	
	鏡板厚さ*8	mm	[redacted](12*2)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1350.0*2, *7 (鏡板長径)	
			337.5*2, *7 (鏡板短径の2分の1)	
	排ガス入口管台外径	mm	89.1*2, *7	
	排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](7.6*2, *7)	
	排ガス出口管台外径	mm	89.1*2, *7	
	排ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](7.6*2, *7)	
	高さ	mm	7300*2, *9	
材料	胴板*10	－	SM41A	
	鏡板	－	SM41A	
個　数		－	20	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.5 kg/cm^2g 及び真空」と記載。記載内容は，正圧側をＳＩ単位に換算したもの。

＊4：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-10　排ガス活性炭ベッドの規格計算書」による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には，支持脚から鏡板上端部までの高さである「7800」と記載。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可さ

れた工事計画の添付図面「第 3-11 図　気体廃棄物処理系　排ガス活性炭ベッド構造図」による。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

			変　更　前	変更後
名　　称			再生ガスメッシュフィルタ	変更なし
種　　類		－	たて置円筒形*1	
容　　量		m³/h/個	[redacted](500*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	250	
主要寸法	胴外径*4	mm	406.4*2, *5	
	胴板厚さ*6	mm	[redacted](12.7*2)	
	上部平板厚さ	mm	[redacted](35.0*2, *7)	
	下部平板厚さ*8	mm	[redacted](25*2)	
	再生ガス入口管台外径	mm	139.8*2, *7	
	再生ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](6.6*2, *7)	
	再生ガス出口管台外径	mm	139.8*2, *7	
	再生ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](6.6*2, *7)	
	胴フランジ厚さ	mm	[redacted](28*2, *9)	
	高さ	mm	1137*2, *10	
材料	胴板*11	－	STPG38	
	上部平板	－	SM41A*7	
	下部平板*12	－	SM41A	
	胴フランジ	－	SM41A*9	
個　　数		－	1	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：ＳＩ単位に換算したもの。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「381」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-16　再生ガスメッシュフィルタの規格計算書」による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板厚」と記載。

＊9：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には，脚部から胴フランジ上端部までの高さである「1800」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板」と記載。

			変　更　前	変更後
名　　称			再生ガス気水分離器	変更なし
種　　類		－	横置円筒形*1	
容　　量		m³/h/個	[redacted](500*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	66	
主要寸法	胴外径*4	mm	406.4*2, *5	
	胴板厚さ*6	mm	[redacted](12.7*2)	
	平板厚さ*8	mm	[redacted](25*2)	
	再生ガス入口管台外径	mm	139.8*2, *7	
	再生ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](6.6*2, *7)	
	再生ガス出口管台外径	mm	139.8*2, *7	
	再生ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](6.6*2, *7)	
	全長*9	mm	1100*2	
材料	胴板*10	－	STPG38	
	平板	－	SM41A	
個　　数		－	1	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒横型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：ＳＩ単位に換算したもの。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「381」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和50年10月6日付け50資庁第8313号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11　気体廃棄物処理系機器配管の規格計算書」のうち，「Ⅲ-1-11-18　再生ガス気水分離器」による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板厚」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「長さ」と記載。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊11：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変　更　前	変更後
名　　称			再生ガス油分離器	変更なし
種　　類		－	たて置円筒形*1	
容　　量		m³/h/個	[redacted](500*2)	
最高使用圧力		MPa	0.34*3	
最高使用温度		℃	80	
主要寸法	胴外径*4	mm	318.5*2, *5	
	胴板厚さ*6	mm	[redacted](10.3*2)	
	上部平板厚さ	mm	[redacted](26.0*2, *7)	
	下部平板厚さ*8	mm	[redacted](22*2)	
	再生ガス入口管台外径	mm	139.8*2, *7	
	再生ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](6.6*2, *7)	
	再生ガス出口管台外径	mm	139.8*2, *7	
	再生ガス出口管台厚さ	mm	[redacted](6.6*2, *7)	
	胴フランジ厚さ	mm	[redacted](24.1*2, *9)	
	高さ	mm	596*2, *10	
材料	胴板*11	－	STPG38	
	上部平板	－	SM41A*7	
	下部平板*12	－	SM41A	
	胴フランジ	－	SM41A*13	
個　　数		－	1	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒たて型」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：ＳＩ単位に換算したもの。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「297.9」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-20　再生ガス油分離器の規格計算書」による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板厚」と記載。

＊9：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には，下部平板端部から胴フランジ上端部までの高さである「570」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「平板」と記載。

＊13：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付図面「第 3-23 図　気体廃棄物処理系再生ガス油分離器構造図」による。

			変　更　前	変更後
名　　称			排ガスフィルタ	変更なし
種　　類		－	たて置円筒形*1	
容		^{3}/h/個	[redacted](11870*2)	
最　高　使　用　圧　力		MPa	0.35*3	
最　高　使　用　温　度		℃	94	
主要寸法	上　部　胴　内　径	mm	2700.0*2, *4	
	下　部　胴　内　径*5	mm	3100*2	
	上　部　胴　板　厚　さ	mm	[redacted](19.0*2, *4)	
	下　部　胴　板　厚　さ*6	mm	[redacted](19*2)	
	鏡板厚さ（胴体蓋）	mm	[redacted](19.0*2, *4)	
	鏡板の形状に係る寸法（胴体蓋）	mm	2700.0*2, *4 (鏡板中央部内半径)	
			270.0*2, *4 (鏡板隅の丸み半径)	
	鏡板厚さ（下部鏡板）	mm	[redacted](19.0*2, *4)	
	鏡板の形状に係る寸法（下部鏡板）	mm	3100.0*2, *4 (鏡板中央部内半径)	
			310.0*2, *4 (鏡板隅の丸み半径)	
	排ガス入口管台外径	mm	762.0*2, *4	
	排ガス入口管台厚さ	mm	[redacted](12.0*2, *4)	
	ドレン出口管台外径	mm	91.0*2, *4	
	ドレン出口管台厚さ	mm	[redacted](15.0*2, *4)	
	胴フランジ厚さ	mm	[redacted](197.0*2)	
	高　　さ	mm	4465*2, *7	
材料	胴　　板*8	－	SM41A	
	胴　体　蓋	－	SM41A*4	
	下　部　鏡　板*11	－	SM41A	
	胴　フ　ラ　ン　ジ	－	SF45*9	
個　　数		－	1	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「縦置円筒形」と記載。

＊2：公称値を示す。

＊3：ＳＩ単位に換算したものである。

＊4：記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 6 月 5 日付け 50 資庁第 4488 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-5-2　排ガスフィルタの規格計算書」による。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴内径」と記載。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には，脚部から胴体上端部までの高さである「5315」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 6 月 5 日付け 50 資庁第 4488 号にて認可された工事計画の添付図面「第 4-2 図　気体廃棄物処理系排ガスフィルタ構造図」による。

＊10：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板」と記載。

(10)　主配管の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料

変更前							変更後						
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
気体廃棄物処理系	排ガス空気抽出器	0.98*2	66	76.4*3	[redacted](7.7*1, *3)	SCS14	気体廃棄物処理系	変更なし					
				89.1*3	[redacted](6.8*1, *3)	SUS316*3							

注記　＊1：公称値を示す。

＊2：ＳＩ単位に換算したものである。

＊3：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-11-12　排ガス空気抽出器の規格計算書」による。

<table>
<tr><th colspan="6">変　更　前</th><th colspan="6">変　更　後</th></tr>
<tr><th colspan="2">名　　称</th><th>最高使用
圧　力
(MPa)</th><th>最高使用
温　度
(℃)</th><th>外　径*1，*3
(mm)</th><th>厚　さ*5
(mm)</th><th>材　料</th><th colspan="2">名　　称</th><th>最高使用
圧　力
(MPa)</th><th>最高使用
温　度
(℃)</th><th>外　径
(mm)</th><th>厚　さ
(mm)</th><th>材　料</th></tr>
<tr><td rowspan="2">気体廃棄物処理系</td><td rowspan="2">排ガス消音器</td><td rowspan="2">0.34*2</td><td rowspan="2">180</td><td>216.3*4</td><td>8.2*1</td><td>STPG38</td><td rowspan="2">気体廃棄物処理系</td><td colspan="5" rowspan="2">変更なし</td></tr>
<tr><td>89.1*6</td><td>7.6*1，*6</td><td>STPG38*6</td></tr>
</table>

注記　＊1：公称値を示す。

＊2：ＳＩ単位に換算したもの。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には，排ガス消音器の内径である「199.9」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊6：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

<table>
<tr><th colspan="6">変　更　前</th><th colspan="6">変　更　後</th></tr>
<tr><th colspan="2">名　　称</th><th>最高使用
圧　力
(MPa)</th><th>最高使用
温　度
(℃)</th><th>外　径*1, *3
(mm)</th><th>厚　さ*5
(mm)</th><th>材　料</th><th colspan="2">名　　称</th><th>最高使用
圧　力
(MPa)</th><th>最高使用
温　度
(℃)</th><th>外　径
(mm)</th><th>厚　さ
(mm)</th><th>材　料</th></tr>
<tr><td rowspan="2">気体廃棄物処理系</td><td rowspan="2">再生ガス消音器</td><td rowspan="2">0.34*2</td><td rowspan="2">80</td><td>318.5*4</td><td>10.3*1</td><td>STPG38</td><td rowspan="2">気体廃棄物処理系</td><td colspan="5" rowspan="2">変更なし</td></tr>
<tr><td>139.8*6</td><td>6.6*1, *6</td><td>STPG38*6</td></tr>
</table>

注記　＊1：公称値を示す。

＊2：ＳＩ単位に換算したもの。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には，再生ガス消音器の内径である「297.9」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊6：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

変更前							変更後						
	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料		名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
気体廃棄物処理系	*6 蒸気式空気抽出器出口弁及び弁 6-23V33 ～ 排ガス予熱器	2.41*2	205	267.4	9.3*1	STPT42	気体廃棄物処理系	変更なし					
				165.2	7.1*1	STPT42							
				318.5	10.3*1	STPT42							
				318.5*9	10.3*1, *9	STPT410*9							
	排ガス予熱器 ～ 排ガス再結合器	2.41*2	205	318.5*9	10.3*1, *9	STPT410*9		変更なし					
				318.5	10.3*1	STPT42							
	排ガス再結合器 ～ 排ガス復水器	2.41*2	538	318.5	14.3*1	STPA23		変更なし					
	排ガス復水器 ～ 排ガス気水分離器	2.41*2	205	216.3	8.2*1	STPT42		変更なし					
	排ガス気水分離器 ～ 排ガス前置フィルタ (排ガス減衰管を除く)	2.41*2	205	216.3	8.2*1	STPT42		変更なし					
		0.34*2	66	216.3	8.2*1	STPT42							
				216.3	8.2*1	STPG38							
				89.1	7.6*1	STPG38							
				60.5	5.5*1	STPG38							
		0.34*8	66	89.1	7.6*1	STPG38							
				216.3	8.2*1	STPG38							
				165.2	7.1*1	STPG38							
	排ガス減衰管	0.34*2	66	812.8	(9.5*1)	SM41A		変更なし					
				216.3	8.2*1	STPG38							
	*4 排ガス前置フィルタ ～ 排ガス後置フィルタ	0.34*8	66	165.2	7.1*1	STPG38		変更なし					
				216.3	8.2*1	STPG38							
				89.1	7.6*1	STPG38							
				60.5	5.5*1	STPG38							
			340	139.8	6.6*1	STPT42							
				60.5	5.5*1	STPT42							

（続き）

変更前							変更後						
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
気体廃棄物処理系	排ガス後置フィルタ*5～排気筒	0.34*8	66	89.1	7.6*1	STPG38	気体廃棄物処理系	変更なし					
				60.5	5.5*1	STPG38							
		0.98*10	66	60.5	5.5*1	STPG38							
		0.98*2	66	89.1	7.6*1	STPG38							
		0.34*2, *7	200*7	89.1*7	7.6*1, *7	STPG38*7							
		0.34*2	66	89.1	7.6*1	STPG38							
				114.3	6.0*1	STPG38							
				216.3	8.2*1	STPG38							
		0.35*2	66	216.3	8.2*1	STPT42							
	排ガス後置除湿器入口管分岐点*11～再生ガスブロワ	0.34*8	340	139.8	6.6*1	STPT42		変更なし					
		0.34*2	250	139.8	6.6*1	STPT42							
			66	139.8	6.6*1	STPT42							
			250	89.1	7.6*1	STPG38							
	再生ガスブロワ*12～排ガス後置除湿器出口管合流点	0.34*8	340	139.8	6.6*1	STPT42		変更なし					
		0.34*2	340	139.8	6.6*1	STPT42							
		0.34*2	80	139.8	6.6*1	STPT42							

注記　＊1：公称値を示す。

＊2：ＳＩ単位に換算したもの。

＊3：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-3-1　排ガス減衰管の規格計算書」による。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「排ガス前置フィルタより排ガス前置除湿器，気水分離器，排ガス後置除湿器，排ガスメッシュフィルタ及び排ガス活性炭ベッドを経て排ガス後置フィルタまで」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「排ガス後置フィルタより排ガスブロワ及び排ガス空気抽出器を経て排気筒へ（屋外配管を除く）」及び「廃棄物処理棟から排気筒まで」と記載。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「蒸気式空気抽出器出口弁より排ガス予熱器まで」と記載。

＊7：記載の適正化を行う。記載内容は，昭和50年10月6日付け50資庁第8313号にて認可された工事計画書に「2.廃棄設備[1]気体廃棄物処理系(15)排ガス後置冷却器」と記載。「排ガス後置フィルタ～排気筒」に整理。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.5 kg/cm²G／760 mmHg」と記載。記載内容は，正圧側をＳＩ単位に換算したもの。

＊9：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「10.0 kg/cm²G／760 mmHg」と記載。記載内容は，正圧側をＳＩ単位に換算したもの。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「排ガス後置除湿器より再生ガスブロワまで」と記載。

＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「再生ガスブロワから排ガス後置除湿器まで」と記載。

表1　放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト（2／31）

設備区分	系統名	機器区分	変更前 名称	変更前 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更前 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更前 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更前 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス	変更後 名称	変更後 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更後 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更後 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更後 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス
気体，液体又は固体廃棄物処理設備	気体廃棄物処理系	－	排ガス復水器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
		熱交換器	排ガス前置除湿器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			再生ガス加熱器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
		容器	排ガス再結合器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
		ろ過装置	排ガス気水分離器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス前置フィルタ	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			気水分離器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス後置除湿器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガスメッシュフィルタ	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス活性炭ベッド	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			再生ガスメッシュフィルタ	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			再生ガス気水分離器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			再生ガス油分離器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガスフィルタ	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
		主配管	排ガス空気抽出器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス消音器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－

表1　放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト（3／31）

設備区分	系統名	機器区分	変更前 名称	変更前 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更前 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更前 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更前 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス	変更後 名称	変更後 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更後 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更後 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更後 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス
気体，液体又は固体廃棄物処理設備 気体廃棄物処理系	－	主配管	再生ガス消音器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			蒸気式空気抽出器出口弁及び弁 6-23V33 ～ 排ガス予熱器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス予熱器 ～ 排ガス再結合器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス再結合器 ～ 排ガス復水器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス復水器 ～ 排ガス気水分離器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス気水分離器 ～ 排ガス前置フィルタ （排ガス減衰管を除く）	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス減衰管	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス前置フィルタ ～ 排ガス後置フィルタ	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			排ガス後置フィルタ ～ 排気筒	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－

表1　放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト（4／31）

設備区分	系統名	機器区分	変更前 名称	変更前 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更前 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更前 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更前 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス	変更後 名称	変更後 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更後 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更後 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更後 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス
気体，液体又は固体廃棄物処理設備	気体廃棄物処理系	－	主配管	排ガス後置除湿器入口管分岐点 ～ 再生ガスブロワ	Ｂ－１	クラス３	－	変更なし			－	－
				再生ガスブロワ ～ 排ガス後置除湿器出口管合流点	Ｂ－１	クラス３	－	変更なし			－	－

表1　放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト（31／31）

設備区分	系統名	機器区分	変更前 名称	変更前 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更前 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更前 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更前 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス	変更後 名称	変更後 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更後 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更後 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更後 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス
堰その他の設備	－	原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	キャスク搬出入用出入口	B	－	－		変更なし			－	－
			サイトバンカトラックエリア出入口	B	－	－		変更なし			－	－
			廃棄物処理建屋機器搬出入用出入口	B	－	－		変更なし			－	－
			雑固体ドラム搬出入用出入口	B	－	－		変更なし			－	－
			ドラム搬入室出入口	B	－	－		変更なし			－	－
			廃棄物処理建屋出入口	B	－	－		変更なし			－	－
			焼却設備機器搬出入用出入口	B	－	－		変更なし			－	－
			連絡配管路出入口（中廊下（二階））	B	－	－		撤去			－	－
			サイトバンカ非常用出入口	B	－	－		撤去			－	－
			連絡配管路出入口（廃棄物処理棟ハッチ室（二階））	B	－	－		撤去			－	－

注記　＊1：表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「5　原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。
　　＊2：撤去対象設備であるため記載を削除する。